

理由

(富田林市)

本地区は、大阪狭山市及び富田林市に跨り、南海高野線 の金剛駅と滝谷駅の中間に位置し、駅へのアクセス等利便性も良い、一級河川・西除川の右岸に位置する地域である。周辺地域においては、大規模開発による住宅地と、旧来からの集落地が存在しており、旧集落内の幹線となる府道河内長野美原線の道路幅員は狭く、周辺道路とのネットワークについても難がある。

このような地域において、新たな幹線道路を軸とした良好な住宅地を形成する為、平成 24 年度に大阪狭山市東茱萸木・富田林市伏山地区地区計画について決定した。又、その後、地区内にあった都市計画道路の廃止が決定した。

今回の提案では、廃止された都市計画道路の区域において、良好な住環境の形成のために土地利用の整形化を図り、緑地と住宅地を整備する。また、隣接する既存集落の防災性を向上させるため、区域を拡張して緊急車両の動線となる道路を整備し、防火水槽を設置する。これらの変更により、より良い住宅地を形成し、地域全体の都市機能の強化に寄与するものと考えている。